

網張ビジターセンター ニュースレター



Amihari
visitor center

Vol.83
2019.3

一年ぶりのご無沙汰です

風に立つホンドテン

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori * 網張の森の生き物たち * amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

3分間の“ホンドテン”劇場

雪が少ないながらも時折吹き荒れる風雪で遠くがかすんでしまうある日の昼食時、ビジターセンター前の石垣の斜面で鮮やかな山吹色をしたホンドテンを室内から見つけました。テンはエサを探していたのか地面の匂いを嗅ぎながら辺りを不規則に歩き回っていました。慌ててカメラを持って玄関へ飛び出しましたが、風雪が幸いし道路を隔てた近距離でも気づかれずに観察することができました。思いの外小さな体にも関わらず、かつては高級な毛皮として人気だったのも頷けるほどの眩い毛に覆われ、さながら大女優？の風貌でもありました。テンはこちらに気づく様子もなく、強風に目を細めたり、木の根元に頭を突っ込んだり、長い胴体を上手に伸縮させながら歩いたり。そのまま湯の沢大橋の方へ進み、やがて姿が見えなくなりました。視界に入ってから消えるまで、わずか3分程。センサーカメラなどでは捉えきれない愛嬌たっぷりの表情やしなやかな動きを特等席で存分に堪能できた時間となりました。

“What is Hondoten?”

「本州に棲むテン」

イタチ科

体長：40～50cm 前後

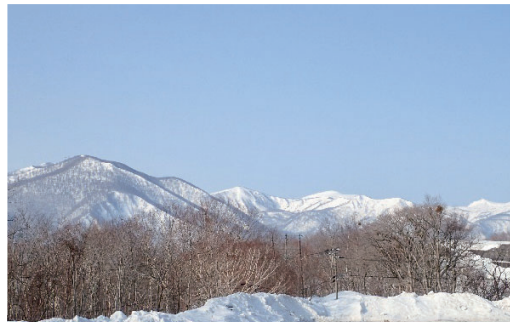
分布：北海道～九州

平地から亜高山帯にかけての森林に生息。警戒心が強く後ろ足2本で立つ

「目陰（まかげ）」という行動を見せることも。交尾は春から夏に見られるが、受精卵の着床遅延があり翌年の春に出産する。

(参考図書：「野生動物観察事典」他)

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori



左から高倉山、小高倉山、三角山、箕森山、烏帽子岳

網張から見える 山ノート

16 ページ目 三角山

みかどやま
三角山

標高：1418m

位置（網張VCから）：西南西

登山適期：3月～4月（残雪期）

特色：高倉山・小高倉山と共に秋田駒ヶ岳よりも古い時代にできた火山。現在、登山道はない。読みは違うが同名の山は国内に数多く、県内は一関市と岩手町にも存在する。

昨年4月、雫石町の有志が丸森経由で三角山に登る計画を立て、VC スタッフはそれに同行させていただきました。冬の間、雪をかぶっていた林道を車で走り高畑牧野に到着。そこからは徒歩で林道を北西に進み、迂回路として荒沢にかかる高倉橋を目指します。



①

橋を渡りなだらかな稜線からアプローチするため、今度は進路を南よりに。丸森は名前の通り傾斜もきつくない、低木のブナがまばらな雪原を登るので快適でした。右手の高倉山もほどよい存在感。山頂に近付くにつれて、目的地の三角山が大きく見えてきます（写真①）。

丸森から細いダケカンバがしげるなだらかな斜面を經由し、三角山へ無事に到着（写真②）。ササが露出した山頂からの展望で目立ったのは秋田駒ヶ岳（大焼砂～男女岳）、箕森山と烏帽子岳、千沼ヶ原は雪の中でしたが、オオシラビソの分布からおおよその位置は想像できました（写真③）。



②



③



平ヶ倉沼コースより、南側と違い北側は地滑りによる深い崖だ

～かつて三角山にも登山道があった～

岩手国体に沸く昭和45年（1970）は、三角山へ至る登山道が整備された時期でもありました。千沼ヶ原から三角山へ至るコース作りに尽力された一人、雫石町在住の岡森さんに廃れてしまった理由についてお話を伺うと…。「コース自体がきつかったのと、登山に至るまでの交通の便がよくなかったせいかな。」草刈り機等を使って登山道を切り開く作業は、当時相当な苦勞があったとか。高倉山～三角山のルートも同様、人々の記憶の中からも遠い場所になりつつあります。

Amihari Birds

アミハリ・バーズ Vol. 26

ヤマドリ

科名：キジ科
全長：♂約 125cm ♀約 55cm
生態：留鳥
分布：本州、四国、九州

鳴き声

コココ…
ククク…



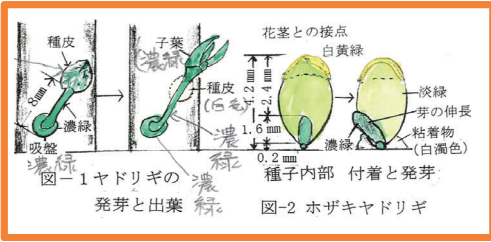
静かな山間を登山中、ヤマドリが急にバサバサッ！と飛び立ち驚かされる事があります。地上で健脚をみかいた彼らは、翼が小さく飛ぶのはあまり得意ではありません。雄にとって翼は音を出すための役割もあり、繁殖期に「ドドド」と羽ばたき「ほろ打ち」と呼ばれる自己アピールをします。雄は長い尾と目の周りの赤い肉質部も自慢で、より見栄えのする雄が雌の支持を受けてきたのでしょう。

好物にヤマウルシの実など基本は植物食で、ほかに昆虫やクモ・ミミズ・甲殻類・巻貝などメニューは実に多彩。

網張では、ありね沢に近い道路上でたまたま餌を探す様子を見かける比較的ポピュラーな存在ですが、実は彼らは日本にしかない特産種。夜は目立たない樹上で寝るという、山の隠者を見つけ出すのは中々難しそうです。

喜作先生の自然スケッチ

ヤドリギ (ヤドリギ科) あれこれ



母種のヤドリギはセイヨウヤドリギ (オウシュウヤドリギという図鑑もある) で日本のヤドリギは subsp. (亜種) ないしは var. (変種) である。古代ケルトのドルイド教では冬も緑で枝が二叉であることから天と地の中間の生活をする神秘的なものとして思いあがめていたようである。「ヤドリギの下の接吻」としてクリスマスの夜にはいかなる婦人も見知らぬ男性から求められたキスを拒むことが許されなかったという。日本のヤドリギとセイヨウヤドリギの違いが私には不明である。私は 1996 年 3 月に滝沢市大崎の東北育種場樹木園内の 64 樹種にヤドリギ、アカミヤドリギ、ホザキヤドリギの粘着物除去後の種子を巾深さ共に 1.5 cm に開けた奥に埋めた。5 月から発芽し始め、12 月には発芽割合はヤドリギ 86%、アカミヤドリギ 83%、ホザキヤドリギ 79% に達し 3 種平均で 83% であった。その一方で 9 月頃から枯れる個体が見られ始め、翌 1997 年 2 月の生き残りは全体の 5.6%、1998 年 5 月、4 樹種で 1.4%、2018 年 5 月には宿主イヌブナに根が食い込んだ 1 粒、全体の 0.2% が残るのみであった。発芽の条件として粘着物が残っていると、それが種子をコーティングした状態になり発芽できなくなる。発芽種子に湿気を与えるには宿主の幹が二叉の形状が良く、さらには適度の日陰も必要と思われた。



吸盤状の先端部、寄生根が侵入に成功 (網張)

今回試みたアカマツ、カラマツ、サワラ、スギ、ドイツトウヒ、メタセコイヤの針葉樹では発芽前後に脂 (ヤニ) にからまれ生育がストップ。メキシコのリオグランデ地方では大王松やジャクシン類にも着生するとのことであるが、私は疑問しいと思っている。もちろん土壌に直接発根定着することも不可能。1994 年 4 月から 1995 年 1 月にかけて雫石、滝沢、盛岡の三地域のヤドリギ雌雄比率を調査したことがある。宿主本数は 89 本でそのうち♀439 株 (67.9%)、♂208 株 (32.1%) という結果。宿主の樹種別本数は右表の通りで、これ以外にもイタリアポプラ、シラカバ、ブナ、ケヤキにも着生が見られた。何故クリ、コナラへの着生が多いのかについては、両種が調査地において圧倒的に本数が多かったのと樹皮が裂けていることが影響したと推測される。同じ調査地におけるヤドリギとアカミヤドリギの株数比率ではヤドリギが 430 株 (54%)、アカミヤドリギが 366 株 (46%) であった。2019 年 3 月 1 日、鞍掛山駐車場から網張ビジターセンターまで道路沿いのヤドリギを観察したところ、ヤドリギは 2 株だけで残りの約 20 株はアカミヤドリギだった。♂株は未開花だったので不明。(亀山記)

宿主名	宿主本数 (%)
クリ	46 (51.7)
コナラ	33 (37.1)
オニグルミ	3 (3.4)
アズキナシ	1 (1.1)
シナノキ	3 (3.4)
ハンノキ	1 (1.1)
ウメ	1 (1.1)
ナシ	1 (1.1)



鞍掛山麓の見事なヤドリギ

2005. 1 ⇒ 2019. 2 網張ビジターセンター開設以来の来館者数が一、一人の訪れで30万人達成!

2月24日、この日行われた「網張の森雪上ハイキング」、参加者が網張ビジターセンターに帰ってくると、館内に拍手が湧き、玄関ホールに「祝 来館者 30 万人」の垂れ幕が下がりました。30 万人目となったのは「子ども達に冬の森をスノーシューで歩く体験をさせたい」と親子で参加した滝沢市の浅沼 雅彦さんと流清君、洸汰君。スタッフから網張の生き物総出演の認定証、地元雫石町の特産品、岩手山の写真集を贈られ、「これからも子ども達と一緒に山登りを続けたい」と笑顔で答えてくれました。日本の各地から訪れてくれた一人、一人の様々な思いを受けて、これからも利用者に親しまれるビジターセンターであり続けたいと思います。



遠来のビジターに雪の魅力をアピール



首都圏からの雫石町移住希望者がビジターセンターで初めての雪かき体験、みんな楽しそう！

写真提供：コミュニティライフ しずくいし



台湾のプロガーや各国からの大学留学生対象のファミツアー開催、雪の感触に全員大興奮！

写真提供：しずくいし 観光協会

最近のビジターセンターの活動



「冬の季節をこんなふうに楽しみました♪」

国立公園で楽しい親子の自然体験 1/26
雪と遊ぼう！網張かんじき体験



52nd いわて雪まつり 2/2~11
春子谷地展望台までスノーシュー体験



巖鷲の滝 2/23
スノーシューハイキング



人の歩いてない雪の森を自由に歩いた時の気持ち良さ、わかる？



雪山登山体験 3/2&3/9
雪の鎌倉森を目指す



写真提供 岩手山地区パークボランティア

参加者募集中！

“網張の春”をテーマに自然観察会を開催します！



4月 7日(日) 根開きのフナノ森で春を探そう
4月27日(土) 早春の網張自然観察会

場所：網張の森周辺からスキーゲレンデ
募集人数：各20名(要予約)
料金：大人500円 子供300円
9：30～14：00 網張ビジターセンター集合



網張から黒倉に向かう

現在開催中の企画展 「写真は作者の心象風景！やさしいまなざしの
網張ビジターセンター展示コーナー 写真の数々にいやされました！」感想ノートから

—細川敬次写真展—
山スキーで行く
八幡平エリア
◆ 3月1日から4月30日まで ◆



沈む夕日 八幡平頂上から

モモンガのつぶやき

春がすぐそこまできているような陽気の中でカエデの幹から光輝く液体が出ていました。試しに指ですくって舐めてみました。

たくさん出ている箇所は「ほんのり甘いかも?」、ちょっと粘り気のある箇所はどうだろう?……「あま〜い!!」日本産メープルシロップも濃厚で甘さ抜群です。今が樹液を取るには適しているとか。森の楽しみが増えました。(佳)



十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 1月 1, 220人 ◆ 2月 1, 723人
朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 1月 -8.3℃ ◆ 2月 -6.5℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 夏期 (4月から10月末まで) 休館日なし 9時~17時